

令和4年度 第8回へきなん市民環境会議定例会 会議録

と き 令和5年1月5日(木)

午後7時から午後8時10分まで

ところ 碧南市役所談話室2、3

司 会 角谷

1 全体協議

(1) 植木市の活動報告について【11/12(土)】

3か所で実施された会場のうちあおいパークに参加し、生ごみ処理キット(6セット)、たい肥、除菌スプレーを配布した。関心がある方に配布することができた。当日は行列ができ、各会場1時間以内に配布終了した。

2月から次年度に向けての会議が始まる。次回も参加する意向。

(2) 秋のクリンピーの活動報告について【11/20(日)】

当日朝方、雨が降っていたため委員に中止の連絡をしたが、平岩鉄工所より10名が参加し、河川敷のゴミを拾った。

全体の参加者は3,200人。ゴミの量は可燃1.84トン、不燃0.4トン。

2 その他連絡事項

(1) 油ヶ淵水環境モニタリングについて【1/8(日)9:00 鷺塚公民館】

担当：竹原、高田、角谷、中根

鈴木恵子氏は2月に参加となりました。

(2) 油ヶ淵流域水環境モニタリング報告・意見交換会【1/13(金)14:00 碧南市役所】

出席者：竹原、高田、岩戸、中根、須田

要望、意見は次のとおり。

- ・調査箇所の堤防沿いの場所の草刈りや階段の設置をしてほしい。
- ・調査箇所に、くい等の目印を設置しモニタリング調査をPRできると良い。

(3) 環境への取り組みをして、変化したことや効果がみられたことについて

環境への取り組みや最近感じたことについての意見は次のとおり。

- ・子ども食堂では企業から賞味期限が近く販売できない商品を受け取ることがある。活用されると良い。また、企業だけでなく家庭においても同様に、いろいろなものが値上がりしているが、高い高いというだけでなく、買いすぎ等により使わない食材など有効活用できるよう気を付けると良い。
- ・電気使用のムダを省くと使用量は減るが料金は変わらない。結果はなかなか出にくいですが、心がけが重要だと思う。
- ・粗大ごみのリユースについてニュースで取り上げられていた。1軒につき約73万円にもものが未使用になっている。兵庫や蒲郡などではメルカリに出品し有効活用している。ごみの処理費の削減や市への収入が得られるとのこと。
- ・クリーンセンターに行った際に自分が欲しいものが廃棄されていたが、もらうことはできなかったため、もらえると嬉しい。
- ・以前自宅を建築した際、収納スペースをたくさん作ったが、スペースがあるとどんどん入れてしまうため、逆効果に感じることもある。
- ・あまりものを買わないようにしないといけない。
- ・頭では理解していてもなかなか実践できない。
- ・世間の情勢を変えることは難しいため、家庭の中でできることを実践するしかない。

(4) 啓発品について

今年度の環境会議の予算を活用するために、必要物品や啓発品を作成する場合、どんなものが手に取ってもらえるか意見を出した。意見は次のとおり。

- ・生ごみ処理キットを作成する際に使用する、立鎌、角スコップ
- ・昨年度作成した除菌スプレーを追加発注。
- ・ポケットティッシュ
- ・ポケットティッシュに環境宣言を書いた紙を入れる
- ・ウェットティッシュ→ウェットティッシュは乾燥しやすいため長期保存しにくい。
- ・藤前干潟（他のところでもよい）へ勉強会に行く

(5) 地球温暖化防止活動推進員の募集について

愛知県より募集案内があった。

募集は、1 / 1 0 (火) まで。希望の方にチラシを配布した。

(6) 自然観察会について【2/12 (日) 豊田市 前田公園】

事務局より説明。前田公園での実施は初めて。

申し込みを希望される方は、事務局まで。

(7) 今後のイベントについて

竹原氏より。事業終了となったふれあいフェスティバルに準ずるものとして、市民活動センターが主となって動いている事業がある。今後のイベント出展内容について、環境宣言に加え、環境会議の取り組みについてやPRも良いと思う。イベント内で委員が取り組んでいることや環境にいいことを発表できると良い。お客様に関心をもってもらえるような取り組みができると良いと思っている。

次回開催 令和5年2月2日(木)

碧南市役所談話室2、3